

KUMAGAYA SOUTH Rotary Club of Saitama RI Dist. 2570



2005. 9. 21

President : Koichi Iizuka
Secretary : Tsuguhiro Shimazaki
Hotel Sun Route, kumagaya
Akebonocho2-22 kumagaya shi

No. 10

Carl-Wilhelm Stenhammar
RI President, 2005-06
Hiroyuki Nonaka Gouverneur
RI Dist 2570



第382回 地区青少年交換委員会委員長・中村正昭様 卓話



中村 正昭 地区青少年交換委員長



本日のプログラム 9月28日(水)
駐日ベラルーシ共和国臨時代理大使
バチャノフスキ レオニド様 卓話

幹 事 報 告

幹事 島崎 次弘

1. RI 2004 年国際大会(関西)実行委員会より
去年の5月に開催された第95回大阪国際大会の記念誌
2. 米山記念奨学会より
米山月間用資料
3. 地区事務所より
「友」インターネット速報No. 201・202

以上が届いております。

卓 話

青少年交換プログラムの実施上の問題点について

D2570 地区 青少年交換委員会 委員長

中村 正昭

熊谷南ロータリークラブの皆様こんにちは
地区青少年交換委員会委員長の中村です。
私は昨年に引き続き本年も青少年交換委員会の委員長を勤めさせていただくこととなりました。
所属ロータリークラブは新所沢ロータリークラブです。

熊谷南ロータリークラブの皆様には前年、一昨年2年間に亘りまして、派遣生並木香理のスポンサークラブ、また昨年度アメリカよりの来日留学生ローズのホストクラブとして一年間ご苦労様でした。
ローズに関しましては一年間多くの問題があり、ご不満、ご意見があることと存じます。
この卓話の時間の最後にお伺いいたし、今後の当プログラム運営上の参考にしたいと思います。

1 週間前の例会にて並木香理さんの帰国報告会が

あったと聞いております。
地区としての派遣生 5 名の帰国報告会が 8 月 27 日に開催されましたので皆様の例会に先立ちまして並木香理さんの報告を聞いておりました。

5 名の帰国生の中で並木さんの報告が内容に富み、その内容から判断しますと彼女が一番当プログラムの目的にあった一年間を過ごしてきたように感じました。

アメリカ留学先の通学高校 400 名の生徒全員と友達になったと言って居りました。
当人の素質がないとなかなか 400 名ものアメリカの学生と友人になれるものではないと思います。
派遣生 5 名それぞれの一年間を終了して帰って来ましたが報告の内容はさまざまです。
派遣先国、そこでの受け入れ態勢、本人の学力、語学力、素養、性格、社交性、品性等の多くの要因により、其の過ごし方、人への接し方、理解の仕方、困難への向かい方等千差万別と思います。
しかしながら、一年間の時間の中で、全員が多くの人と触れ合い、多くの思い出を作り、其の中で多くの事を学び大きく成長して帰ってきてくれました。

次世代を担う若人を育て上げるのは我々の仕事だと思います。
そして一人でも多くの若き親善大使を育て上げるのが、国際ロータリー本部が公式プログラムとして承認した青少年交換プログラムです。

青少年交換プログラムについて其の目的、其の進め方、其の規約等につきお話させていただきます。

青少年交換プログラムは若き国際親善大使を育成、派遣し、国際社会の理解、友好を通して世界平和への貢献を其の目的としています。
現在第 35 期の学生が、2 名アメリカに留学中であり、またアメリカより 2 名の学生が来日しております。
本年度は当プログラムを開始いたしまして第 36 期目となります。
既に 200 名を越す学生が海外に派遣され、それとほぼ同数の学生が海外より来日して 2570 地区のロータリークラブ、ロータリアン、その他多くの方々にお世話になっております。
本年度の第 36 期プログラムは現在派遣生の募集中であり、約 10 名の派遣生を予定しております。

選抜試験は 11 月 26 日、その後来年 2006 年 8 月出発までの間、派遣生としての心構え、ロータリープログラムへの参加、日本文化の再教育(日本料理、郷土の文化探訪等)、スピーチの仕方、留学中の遵守すべき行動規範、渡航の準備等を 2 度の合宿などを通して教育育成しております。
この教育育成オリエンテーションは、基本的に世界

中共通の『青少年交換要覧』に従い、それぞれの国の状況を加味して作成実施されております。

従いまして、来日学生も多少の違いはあっても同様に来日前にオリエンテーションを受け、さらに、来日学生は我々の第 2570 地区より送付される来日学生の指針、日本での行動規範を記載した『来日学生ガイドライン』(GUIDELINES FOR INBOUND STUDENTS)を通読していただき、其の最後のページに有る誓約書に両親とともに、自署し、来日する手続きをとっております。

これは日本から派遣される学生も同様に相手先より送付されてくる行動規範指針書に両親ともに自署し、返信しております。
この指針に従わない場合には、留学生として資質に欠け、早期帰国の対象となります。
世界中全ての学生の約 3 %は早期に帰国しています。これらのうちには、ホームシック、病気、又は家族の問題で早期帰国を希望する学生もいます。
その他の学生は、青少年プログラムの規則に違反した場合です。
早期帰国は、国際間の 2 地区の問題までに発展しないように、常に派遣地区とクラブに十分な情報を提供した上で行う必要があります。

昨年度の交換学生プログラムは熊谷南ロータリークラブにとって派遣学生はよい成果を得て帰国しましたが、来日学生はクラブにとって、問題の多い学生であったように思います。
来日学生を選考するに当たり、相手地区より派遣候補生の申請書が送られてきます。
残念ながら、書面上で学生の、全てを判断し、可否を決めることは不可能です。
従いまして、受入後、学生の留学生としての資質の判断をすることとなります。
幸いなことに、2570 地区より、強制送還された留学生は過去 34 年間わずか数名と聞いております。
しかしながら、品行の悪い留学生のホストを勤めたクラブへのダメージは計り知れないものがあると思います。
それはクラブだけではなく、地区にとってもプログラム推進上の大きなダメージでもあります。
今後当プログラムを推進するため、資質にかけた来日学生の早期帰国に関する、地区としての、方針、規約を明確なものにする必要があると思います。

最後に昨年一年間、前年度李会長、棚沢カウンセラー、ロータリアンの皆様の当プログラムへのご協力に感謝をいたしますと同時に、今後も引き続きのご協力をお願いいたしまして、私の卓話を終了させていただきます。
どうもご清聴有難うございました。

中村委員長に、先日地区の帰国報告会に出席した時、ローズの件で、会員がみんな先方の地区の審査基準に不信感を持っていることをお伝えしました。入国前のセミナーはあったのか？ 又、誓約書で4Dその他の禁止事項を本人はなぜ理解していないのか？といった事もお話ししました。せっかくの良い関係になった熊谷西高校が受け入れ校をしたくない「もうこりごり」との意見があったことを含め、先方の地区へ問い合わせ、抗議をして頂けるとの事でした。

本日の当クラブの卓話の時出た質問その他の意見もまとめて、この後地区で協議し、先方の地区へ抗議して頂けるとの事です。

中村委員長へのお願い 島崎次弘会員

送り出したい留学希望者はまだたくさんいるはずなのに今度の当クラブようにしばらくストップせざるを得ないのは残念。行く子はほとんど問題ないが、受け入れで来る子がどんな人か来て見なければわからないと言うのが現状。これまでのようにただあてがいぶちで割り当てられるのでは、これまでのことでダメージを受けたホストファミリーや受け入れ校の理解を得られず、持続はもちろん再開も難しいと思います。地区のチェックも、相手のところまで行って身辺調査をするわけにもいきませんし、相手の推薦を信用するしかないという難しさもわかりますが、我々も直接出来るわけではなく地区を窓口にしてお願いするしかありません。

こちらサイドで受け入れの相手を選べればいいのですが、ひとつ提案があります。当クラブはオーストラリアのアップーヤラRCと姉妹クラブを結んでおります。そのような友好関係にある姉妹クラブとの留学生のやりとりなら、お互いに身元のしっかりした保証できる人達の交換ができます。しかもふだん会員同士の相互訪問がなかなかできない状況でも、小さな親善大使の交換ができれば、姉妹クラブとしての友好関係も無理なく続けられるのではないのでしょうか。当クラブだけでなく、姉妹クラブを持つクラブがお互いに指名しあって相手先を選ぶ道をぜひ作って頂きたい。

もうひとつ大事なことがあります。今度の件などで信頼関係を損ねてしまった受け入れ校へのアフターです。当クラブの大切なパートナーだった熊谷西高校の場合も、ロータリークラブの推薦する人だからと引き受けてくれたのにそれがたいへんな問題児だったことで、当クラブのみならずロータリークラブそのものへの不信感を持ってしまったという現

状があります。ただでさえ受け入れ校が少なくなっている時に、熊谷西高校のような理解あるパートナーを失ったことはたいへんなダメージです。そうとう懲りてしまったようなので、今後の信頼回復には当クラブの力だけでは難しいというのが実状です。地区のお力もお借りして、一緒に取り組まなければとても信頼の回復は出来ないと思いますので地区としてのご検討をお願い致します。

委員会報告

● 出席報告

例会日 9月21日

会員数	出席	欠席	MU	出席率
40	23	17	0	58%

お客様：地区青少年交換委員会委員長 中村正昭様

● ニコニコBOX

地区青少年交換委員会委員長・中村正昭様

本日は皆様宜しく願います。青少年交換プログラムでは御世話になりました。

飯塚幸一会長

青少年交換委員長中村正昭様ようこそ熊谷南ロータリークラブへ。歓迎申し上げます。又、本日の卓話よろしく御願い申し上げます。

島崎次弘幹事

中村委員長様。今日はわざわざお越し頂きまして本当にありがとうございます。卓話大変楽しみにしております。よろしくお願い致します。

田島武会員

地区青少年交換委員長 新所沢ロータリークラブ 中村正昭様、ご来訪大歓迎いたします。本日の卓話宜しく御願い致します。

山口茂会員

中村委員長様、本日の卓話楽しみにしております。宜しく御願い致します。

吉田博三会員

中村地区委員長さん遠路卓話にお越しいただき誠にありがとうございます。よろしくご指導下さい。

澤田将信会員

お世話になります。澤田将信です。地区青少年交換委員会中村委員長さん本日の卓話宜しく御願いいたします。澤田元気無し☹×××

加藤博会員

本日は、地区青少年交換委員会委員長中村正昭様には、お忙しい所をご来訪いただきありがとうございます。ご指導よろしくお願い致します。

馬場孝会員

中村委員長様、本日の卓話宜しくお願い致します。

井上哲孝会員

親睦委員会で保険の井上です。本日所用のため欠席させていただきます。来週は必ず出ます。小野寺さん来週会えるといいですね。

加藤公一会員

唯の一回の例外もなく、清水さんをみつめながら食事を出来ましたのに、なんと山口さんの気の利かない事（山口さんに席を移されたので）

棚澤正行会員

中村委員長、本日は熊谷南RCの為に遠路はるばるお越し頂きありがとうございます。昨年度は、並木香理さん、ローズと色々お世話になりありがとうございました。本日は卓話よろしくお願い致します。

熊谷南ロータリークラブ

クラブ会報委員会 佐川順一・大野英夫・馬場孝

TEL 048-522-6143 FAX 048-522-6153

E-mail: ksr@ps.ksky.ne.jp

<http://www.ksky.ne.jp/~ksr/>